

ゼミ概要

障害児心理学 / 重複障害教育

障害状況にある人との教育的係わり合いについて、実践研究（アクション・リサーチ）を行なっています。障害の種類や年齢は問いません。教育相談の場や学校、施設、家庭などを訪問するなかで、定期的、継続的に係わり合いを持たせていただき、障害状況からの立ち直りを目指してアプローチします。学生もこのプロセスに積極的に関与していきます。



Welcome to 研究室 & ゼミ

特別支援教育講座

岡澤研究室【教育学部】

ゼミ生から

岡澤研究室では、障害のある子どもの教育相談を行なっています。岡澤先生と子どもとの一対一の係わり合いの様子を学生がビデオで記録し、授業などの際に意見を交換しながら障害のある子どもとの係わりについての検討をしています。私は現在、教育相談で大学に訪している子どもと個別に係わり合いを持たせていただいている。日々どうすれば滞りの少ないコミュニケーションを行なうことができるのか、どうすれば子どもの興味を引き出して楽しい活動ができるのかということを考えながら、係わり合いを行なっています。ゼミでは係わり合いの様子を紹介しながら、係わり手のあり方や子どもの行動の意味などを学生と先生がざっくばらんにディスカッションし、お互いの考えを深め合っています。学生が主体的に学ぼうと切磋琢磨する気あふれる研究室です。

大学院 教育学研究科 特別支援教育専修1年 藤島 生

岡澤ゼミでは、障害のある人々と自分はどうか関わっていくのか、なぜ係わるのかということ突き詰めて考えていきます。週に1回のゼミ発表では、いろいろな人の意見を聞きながら考えを深められる有意義な時間になっています。また、ゼミ以外でも教育相談のビデオ撮影、栃

木県はもちろんのこと県外で行われる講演会の参加、ボランティアの募集などなどさまざまな機会が学生に開かれています。月に1回、宮城県に住んでいる重度の障害のある方々との係わり合いの場に行かせてもらうこともあるんですよ～！そこでは、文字学習をしている方がいるのですが、その方の視線からどちらの答えを選んでいるのかを私たちが読み取ります。問題に正解すれば一緒に喜んだり、間違いがあればどこで間違えたのかを考えたり、私たちの読み取り方はどうだったのかを考えたり...毎回勉強になることばかりです！

やるべきことはちゃんとやる、そして飲み会もしっかりやる、岡澤ゼミはそんなゼミです（^-^）

教育学部 特別支援教育専攻4年 三條 美紀

教員から

研究テーマは、学生が各々、主体的に設定しますが、実践研究を希望する学生が少なくありません。学生は、私が実施する教育相談に参加したり、学校や施設、家庭などの研究フィールドを訪問したりするなかで、障害状況にある人との教育的係わり合いをイニシアチブをもって展開していきます。また、研究室の学生には教育相談のビデオ撮影を担当してもらい、ビデオ記録を視聴しながらカンファレンスを実施します。ビデオ撮影を経験するなかで、観察や実践の視点について体験的に学びます。人と人との係わり合いに“正解”はありません。“よりよい係わり合いのあり方”について、自らのあり方を含めて根本的に問い直し、自らの“答え”を見出し続けていくことが“教育”を仕事とする人間に求められるのではないのでしょうか。実践研究のなかでこうしたことを学んでほしいと思っています。

教育学部 特別支援教育講座 准教授 岡澤 慎一

